

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	すたぁりっと1st 東住吉		
○保護者評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0人	(回答者数) 0人
○従業者評価実施期間	2025年 2月 6日		～ 2025年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	すたぁりっとジュニアに移行する為の支援が出来る。	月齢や年齢に応じて移行のためのロールプレイを実施している。	小学校・放課後等デイサービスと大きく環境が変わることもあり、移行期間は子どもの様子を見て長く見積もっている。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校がある日は事業所で過ごす時間が短くなることがある	学校の時間割によって通所時間が遅くなり、帰宅時間が17時となるため	土・祝日のイベントを通して支援を行っていく
2			
3			

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 すたぁりっと1st 東住吉

公表日 2025年 4月 1日

利用児童数 0人

回収数 0人

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し
	29	事業所の支援に満足していますか。						放デイの方の通所がないため 保護者からの回答無し

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		すたありっと1st 東住吉		公表日 2025年 4月 1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		ブレイルームと支援ルームに分かれる時もある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	保護者参加の親子イベントを開催している	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		保護者参加の親子イベントを開催しているので、その時に保護者間の交流や兄弟参加も有ります。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		定期的にボランティアの方が絵本の読み聞かせに来て下さいます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	すたぁりっと1st 東住吉		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 6日		～ 2025年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37人	(回答者数) 31人
○従業者評価実施期間	2025年 2月 6日		～ 2025年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・はじまりの会やプログラムを通じ自身の気持ちや思いを言葉で伝える機会がある。	・様々な言葉を知ることができるように、プログラムに言葉のカードや視覚支援を用いて、自己発信をしやすい環境設定を図っている。	・発表の際、助詞が使って文章として発表ができるように支援を行う。
2	・クッキングや身の回りの事を自身で行うよう支援を実施し、ライフスキルを知る機会がある。	・クッキングや買い物訓練などを通し、ライフスキルを身に付けられるように支援している。	・電車訓練を多く取り入れ様々な施設に行き公共のマナーを知らせていく。
3	・商店街の中にあるので、地域の方とコミュニケーションを取る機会が多くある。	・散歩の際、挨拶をしコミュニケーションを取っている。 ・ボランティアの方が絵本の読み聞かせに来てくれている。	・避難訓練や防犯訓練など地域の方と協力して出来る様、事前に声掛けを行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育園や幼稚園のように園庭がないため、外遊びをする為に近くの公園に移動する必要がある。	・商店街の中にある事業所の為。	・土曜日のイベントに公園遊びを入れているため、今後も公園遊びや外出のイベントを実施する。
2	・子どもたちの遊びの要求に年齢差や月齢差が見られる	・2歳～6歳までの縦割り療育のため	・遊びの工夫を支援者が知らせていくことで遊びの幅を増やしていく
3			

公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 すとありっと1st 東住吉

公表日 2025年 4月 1日

利用児童数 37人

回収数 31人

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	3		1	・子どもが少人数ならスペースは確保されていると思う。 ・午後利用者が最大何人居てるかどんな様子か見ていないので分からない。	子どもの月齢を踏まえてプレイルームと支援ルームに分かれて過ごしております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	26	2		3	・午後利用者が最大何人居てるかどんな様子か見ていないので分からない。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30			1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29			2		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	1		1	・支援内容を十分に知る機会がない。 ・土曜日ばかりの通所なので、プログラムがイベントに偏りがち。	支援内容については、毎月お渡ししているプログラム内容と毎日書かせて頂いている連絡帳を確認して頂いております。土曜日と祭日はイベントとなる為、平日で利用可能日が有れば利用をご検討下さい。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	1		1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28			3		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	29	1		1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	1		1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	28	2		1	・色々なイベントが有って子供も楽しそうです。	職員一同で様々なイベントを考案しております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	4	5	10		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30			1	・分かり易くとても丁寧な説明でした。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29		1	1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	1	1	7		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	28	2		1	・連絡帳や送りの際に事業所内での様子を伝えて頂けるのは有難いです。 ・お迎え時に、様子を話して下さる職員さんとそうでない職員さんが居るので、出来れば皆さんに話して貰いたい。	送迎の際、送迎の都合上や時間の関係もあり、直接のお伝えが難しい場合があります。当日の様子のお伝えを想定して連絡帳に簡潔に様子を書かせて頂いておりますので、熟読お願い致します。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	2		2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29			2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	3	4	12	・保護者参加の会はあるが、保護者同士の交流の機会ほぼ無い。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	1		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	4	1	10	<ul style="list-style-type: none"> ・発表やイベントの動画や写真を定期的に送って欲しい。 ・連絡の際、兄弟の名前を記載して下さると助かります。 	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	1		6	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練はよく実施してくれているが、他は分からない。 	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27			4	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練は行われている様ですが、曜日の関係か利用日には設定されていないので、子どもは訓練に参加出来ていないと思う。 	月に1度、避難訓練を実施しております。プログラムに避難訓練実施日を明記しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26			5		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	2	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・発生していない為。 	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	28	1		2		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	28	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・同年代のお友達が居ると嬉しそうにしている。 ・「明日すたぁりっとの日だよ」と言うとニコニコして「明日はすたぁりっとに行くよ」と返ってくる。 	
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	1			<ul style="list-style-type: none"> ・職員の方々の温かいご支援とご指導に感謝しています。 ・日々言葉が増えています。いつもありがとうございます。 ・自発的に出来る事が増えた。 	色々な言葉を頂戴しております。日々支援の向上に努めております。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		すたありっと1st 東住吉					公表日	2025年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		利用者人数が多い時はプレイルームと支援ルームに分かれて過ごしている為				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	職員が休みで少ない時は他児業者からヘルプに来て貰う等、調整している。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5						
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5						
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5						
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		モニタリング面談や保護者参加の親子イベントを実施し、保護者様からの意見を聞き、支援内容の改善を検討している。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎月職員会議をしており、又毎日終礼で振り返りをしている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5						
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5						
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5						
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5						
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5						
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5						
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5						

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		朝礼で行っている。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		終礼で行っている。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1			
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		公園遊びや外出訓練時にルールを守って交流する事もある。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5					
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		保護者参加型の親子イベントを実施し、面談等でも語意見を聞いている。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		保護者参加の親子イベントを開催しているので、その時に保護者間の交流や兄弟参加も有ります。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		定期的にボランティアの方が絵本の読み聞かせに来て下さいます。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		保護者様からの聞き取りにより、対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5			